



平成 28 年 1 月 8 日

各 位

会 社 名 エコートレーディング株式会社  
代表者名 代表取締役社長 高橋 一彦  
(コード：7427、東証第一部)  
問合せ先 専務取締役人事総務本部長 新森 英機  
(TEL. 0798-41-8317)

### 通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向等を踏まえ、平成 27 年 10 月 9 日に開示しました通期業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 当期の連結業績予想数値の修正（平成 27 年 3 月 1 日～平成 28 年 2 月 29 日）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 ( A )	75,600	115	136	68	11.27
今 回 修 正 予 想 ( B )	75,600	△136	△115	293	48.54
増 減 額 ( B - A )	—	△251	△251	225	—
増 減 率 ( % )	—	—	—	330.9	—
( 参 考 ) 前 期 実 績 ( 平 成 27 年 2 月 期 )	74,672	59	70	93	15.46

#### 2. 修正の理由

当第 3 四半期連結累計期間につきましては、ペット市場の成長率鈍化（飼育頭数の伸び悩みや飼育生体の小型化）が続く中で、当社グループでは当社の創業 50 周年に当たる 2020 年に向けて『I<sup>2</sup>☆50 お客様満足度 NO. 1 スピード・成長・拡大』を基本方針とした新中長期経営計画を策定し行動しております。また、平成 26 年に引き続き、平成 27 年 6 月 29 日から 30 日にかけて『ニューマーケット創造提案会』を国分株式会社と共同開催いたしました結果、売上高は前回発表予想通りの見通しとなりました。しかし、低価格志向の影響によるペットフード及びペット用品の販売価格の下落の進行や、一時的なコスト（期中の在庫過多による保管費の上昇及び倉庫環境の整備に掛かるコスト）が上昇した結果、営業利益、経常利益が前回発表予想を下回る見

通しとなりました。

また、平成 27 年 11 月 12 日開催の取締役会において、ココロ株式会社の全株式を株式会社爽快ドラッグへ譲渡すること及び同社と業務提携を行うことを決議いたしました。その結果、当第 4 四半期連結会計期間において、ココロ株式会社の連結除外による特別利益として 2 億 8 千 8 百万円の計上が見込まれることにより、当期純利益については前回発表数値を上回る見込みとなりました。

当社は、得意先様に商品を安定供給するために品揃えを強化してきた結果、在庫が適正水準を超えるようになり、倉庫内の作業環境の悪化に伴う物流作業費や保管費の上昇を招くようになりました。現在、在庫削減プロジェクトチームを結成し、商品供給の品質を維持しながら在庫削減を金額面のみならず、商品アイテム面においても徹底して行い、物流効率の向上に取り組んでおります。この在庫削減活動に伴い、仕入高が前年同期に比べ一時的に減少したことにより仕入割戻が減少したこと、及び長期滞留在庫の整理を進めていることにより、第 4 四半期も厳しい経営環境が続くことを踏まえて見直しを行なった結果、前回の発表予想から修正を行なうものであります。

当社は、これらの在庫削減を当連結会計年度末までに完了するよう推進し、翌連結会計年度における売上総利益の拡大と物流コストをはじめとする販売費及び一般管理費の削減の基礎とする所存であります。

(注) 上記の業績予想は、本資料発表日現在において、入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上